



広報 **えびな**

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

市議会議場で市内19校のこども議員が登壇



えびなっ子 未来への質問

8月27日、市役所内の海老名市議会議事堂で、市制施行30周年記念事業「海老名こども議会」が開催されました。当日は、小学生19人が「こども議員」として、未来の海老名に関する、環境・福祉・教育などさまざまな分野から質問・意見を亀井市長に行いました。

初の「こども議会」を開催

この議会は、小中学生に未来の海老名に関する意見を聞くと同時に、行政・議会への理解を深めてもらおうと初めて行われたもので、市内19の小中学校から選出された「こども議員」19人と、「こども議長」の計20人が参加しました。

午後1時45分、「こども議長」の小森恵子さん(海西中3年)の進行で、名前を呼ばれた「こども議員」が順番に演壇に立ち、やや緊張した面もちながら、日ごろの考えをはっきりとした声で次々に述べていきました。

Q「四市合併(海老名・綾瀬・座間・大和)の計画はあるのですか」鈴木悠紀さん(大谷小6年)」

A「今はありません。合併は利点も欠点もあるが、大前提は市民のみなさんの意識。実現の決め手は賛成の声が大きくなることです。」

Q「学校への不審者の侵入防止対策はありますか」中辻裕介さん(中新田小6年)」

A「学校の見回り強化を海老名警察署にお願いしたり、学校関係者や保護者の協力で不審者を通報する体制を強化しています。」

Q「子ども110番の家の仕組みについて」戸木隆浩さん(海西中3年)」

A「普段家にいることが多い人や、お店などにPTAから協力を依頼してプレートを掲示していただき、子どもたちが危険な目にあった時に逃げ込める避難場所としています。市も、この運動をより進めていき、市全域に広めたいと考えています。」

Q「部活動の活性化について」伊達正剛さん(大谷中3年)」
A「市では、技術的な指導が必要な部活について部活動指導者派遣事業により、コーチや補助の先生を学校に派遣しています。今後も活性化のために、全中学校や教育委員会などと相談しながら、充実していきたいと思っています。」



閉会後に記念撮影

など、本物の市議会顔負けの質問が約3時間続きました。こども議員たちからは、「今日の質問を一度に実行することは難しいと思いますが、できることから順番に進めていってほしい」「私たちが大人になるころには、もっと住みやすいまちにしてほしい」などの声がかれました。
亀井市長は、「初めてのこども議会でも、私も緊張しました。こども議員のみなさんが、予想以上に海老名に対して関心が高かったのには驚きました。これからは、みなさんの時代です。今の大人たちがその土台づくりをしますので、まちづくりに参加してください」と話し、こども議会は閉会しました。